

# 景観形成の手引に関するチェックリスト

建築物や工作物の設計にあたっては、「景観形成の手引」を活用していただき、まちなみの美しさや自然に配慮した良好な景観づくりに努めてください。

敷地周辺の印象と建築計画への反映		届出者・設計者等の意見
地域特性を活かす	<p>敷地周辺を歩いてみて、以下の手順で計画を検討してください。</p> <p>① 設計者の方自身が敷地周囲300mくらいを歩いてください。</p> <p>② 歩きながら、まちの雰囲気を感じとり、印象に残ったところの写真やメモをとってください。</p> <p>③ 設計者の方自身が敷地周囲300mくらいを歩いてください。</p>	(建築計画に反映したこと等を自由記入してください)

(計画の際、景観の形成のために工夫をしたものとして該当する項目にチェックし、内容を自由に記入してください)

景観の形成のために工夫すべき項目		該当の場合 チェック	届出者・設計者等の意見
周辺のまちなみに配慮する	《まちなみ・まちかど景観をつくる》		
	○ 大規模な建築物では、緑や建築物の配置、建築物の分節化、スカイラインの調和に配慮する。	<input type="checkbox"/>	
	○ 建築物の形状、色あい、素材などについては、周辺の建築物と調和し、良好なまちなみを形成するようデザインする。	<input type="checkbox"/>	
	○ 角地などでは、道路側に余裕をもたせ、人々の出会いが生まれるようなまちかどをつくる。	<input type="checkbox"/>	
	《街路景観を整える》		
	○ 建築物のデザインや色彩、低層部の利用形態などに、通りとしての連続性をもたせる。	<input type="checkbox"/>	
	○ 敷地に接する道の雰囲気に応じて、塀や敷階をデザインする。	<input type="checkbox"/>	
	○ 幹線道路の沿道で緑化や広告物の修景を進め、枚方のイメージをより良いものにする。	<input type="checkbox"/>	
	《地域の歴史を尊重する》		
	○ まちの歴史を物語り、魅力をつくりだしている町家や民家などの外観・意匠を継承する。	<input type="checkbox"/>	
	○ 歴史的なまちなみに配慮し、建築物や外構の形態、意匠を工夫する。	<input type="checkbox"/>	
	○ 集落や里山のもつ豊かな景観を残すようにする。	<input type="checkbox"/>	
	《地域の自然を大切にする》		
	○ まちなみの背景としての緑の連なり、生物の生息場所としての自然の連なりに配慮する。	<input type="checkbox"/>	
	○ 水辺の敷地では、河川やため池の自然を取り込み、水辺と一体となった景観を形成する。	<input type="checkbox"/>	
○ 地形は豊かな表情を生み出す資源であり、それを活かした建築物の配置、デザインを行う。	<input type="checkbox"/>		

(計画の際、景観の形成のために工夫をしたものとして該当する項目にチェックし、内容を自由に記入してください)

景観の形成のために工夫すべき項目		該当の場合 チェック	届出者・設計者等の意見
敷地を豊かにする	《建築物の配置を工夫する》		
	○ 敷地の道路側に空地やアルコーブなどを生み出すような建築物の配置を心がける。	<input type="checkbox"/>	
	○ 適切な建築物の配置によって生み出された空地上手にデザインする。	<input type="checkbox"/>	
	○ 道路と建築物の間を開放し、敷地とまちなみの双方にゆとりをもたせる。	<input type="checkbox"/>	
	《緑によって建築物を引き立てる》		
	○ 道を行く人に豊かな緑を提供するように、既存の緑を活かすとともに、効果的に緑を配置する。	<input type="checkbox"/>	
	○ 建築物のボリュームや高さに応じた緑の量を確保する。	<input type="checkbox"/>	
	○ 敷地の道路側に緑を配置しながら、敷地の緑を互いにつなぎ、まちの緑として大きく見せる。	<input type="checkbox"/>	
	《屋外施設は美しくおさめる》		
	○ 駐車場や自転車置場は、まちなみに調和した塀や緑などで囲う。また、建築物と一体化させるなど、目立たないようにする。	<input type="checkbox"/>	
○ ゴミ置場、受水槽などは美しく配置・デザインする。	<input type="checkbox"/>		
建築物の姿を整える	《建築物の形態・意匠は調和と創造を考える》		
	○ 個別の建築物あるいは一団の建築物は、時代を超えて都市美をつくるようにデザインする。	<input type="checkbox"/>	
	○ 建築物を利用する人やまちを歩く人に、余裕や楽しさを提供するように、外壁の形態やデザインを工夫する。	<input type="checkbox"/>	
	○ 屋根やバルコニーは、美しいシルエット、適度なまとまり、リズム感などをもつようにする。	<input type="checkbox"/>	
	《建築物の色彩はまちなみとしての色あいに配慮する》		
	○ 基調色（外壁、屋根など建築物の外観を広く占める色）は落ち着いた色を基本とし、まちなみと調和させる。	<input type="checkbox"/>	
	○ 強調色（外壁の一部、窓枠、手すり、広告物など建築物の外観の一部を占める色）はまちなみや建築物全体との調和に配慮して、基調色と適切に組合わせて用いる。	<input type="checkbox"/>	
	○ 一つの建築物に用いる色の数や彩度を抑えて、色彩のあふれだしを防ぐ。	<input type="checkbox"/>	
	《付帯設備は建築物と一体的にデザインする》		
	○ 屋上の設備は建築物と一体的にデザインするか、周辺から見えないように配置する。	<input type="checkbox"/>	
○ 外壁の設備は建築物や周辺と調和するようにデザインする。	<input type="checkbox"/>		
○ 屋外階段は建築物と一体的にデザインし周辺と調和させる。	<input type="checkbox"/>		
《広告物・工作物は周辺に調和させる》			
○ 広告物は、大きさ、表示内容量や色数を、必要最小限に抑えることを基本とする。	<input type="checkbox"/>		
○ 広告物は、建築物と一体的にデザインし、まちなみを印象づけるような良質なデザインを用いる。	<input type="checkbox"/>		
○ 工作物は、それ自体をデザインするとともに、配色や植栽などにより威圧感をやわらげる。	<input type="checkbox"/>		